

資機材を備蓄し、富士山の噴火に備える（静岡県富士宮市、山梨県南都留郡富士河口湖町）

事業者：国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所



ブロック備蓄状況（山梨県富士河口湖町）



ブロック備蓄状況（静岡県富士宮市）

【位置図】

静岡県側ストックヤード
（富士宮市） 約3,000個

山梨県側ストックヤード
（富士河口湖町） 約5,000個

富士山

●：ブロック配置箇所



対策名：No.16 全国の火山における火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定等及び同計画に基づく緊急対策

事業名：富士山直轄砂防事業

- ポイント**
- 3か年緊急対策により8,000個のコンクリートブロックを備蓄
 - 噴火時には迅速かつ効果的な緊急対策を実施し被害をできる限り減災

地域の概要・課題

富士山は過去3,200年の間に135回の噴火が発生した国内でも有数の活火山です。

山麓には国道1号やJR東海道本線など、重要なインフララインが多数存在しています。

噴火に伴い発生する土砂災害に対して、迅速かつ効果的な緊急対策を実施する必要があります。

事業の概要

富士山の火山噴火緊急減災対策砂防計画に基づくコンクリートブロック備蓄について、平成30年草津白根山の噴火を踏まえ、3か年緊急対策として約8,000個備蓄しました。

【見込まれる効果】

火山噴火が発生した場合、備蓄ブロックを活用して溶岩流や土石流を捕捉するための仮設堰堤の整備や既設砂防堰堤の嵩上げ等、緊急的な対策を行い、被害をできる限り減災します。



コンクリートブロックの活用イメージ（富士山）